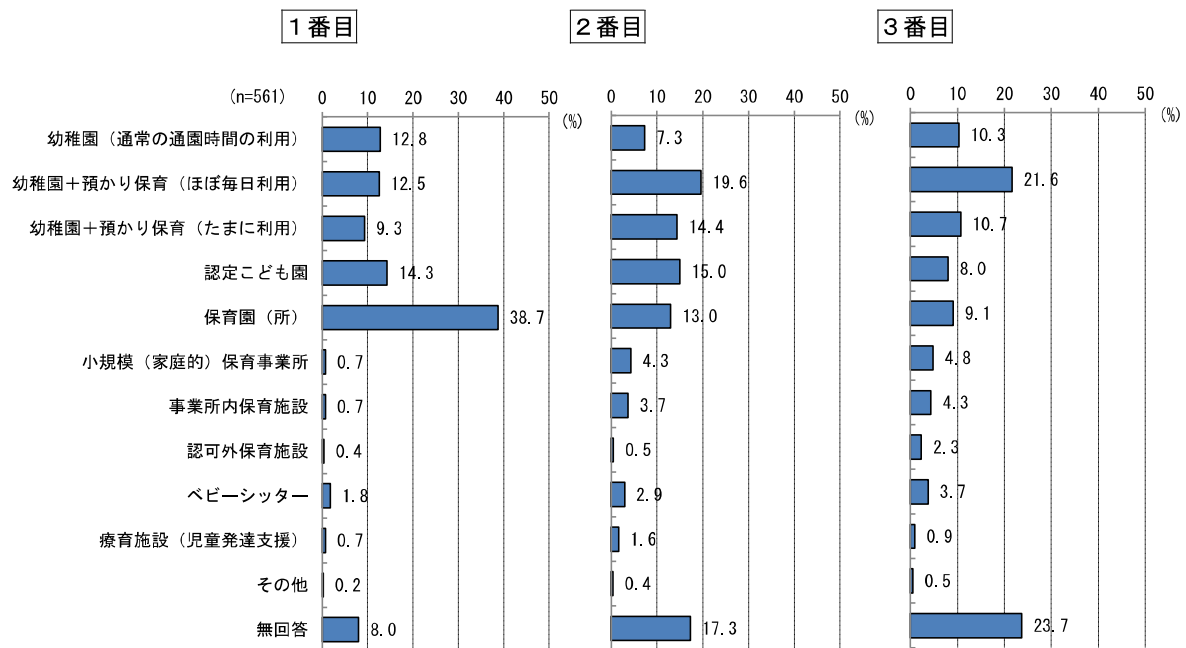


3. 働き方が変わった場合に利用したい施設等

問11(3) あなたやあなたの配偶者の現在の働き方が変わった場合、平日に定期的に利用したいと思う施設等について、下記から番号を選んで、利用したい順番に3つまでご回答ください。

【図3-3 働き方が変わった場合に利用したい施設等】



働き方が変わった場合に利用したい施設等の1番目は「保育園（所）」（38.7%）、2番目は「幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）」（19.6%）、3番目は「幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）」（21.6%）となっています。（図3-3）

□家族類型別

【表3-3-1 家族類型別 働き方が変わった場合に利用したい施設等】

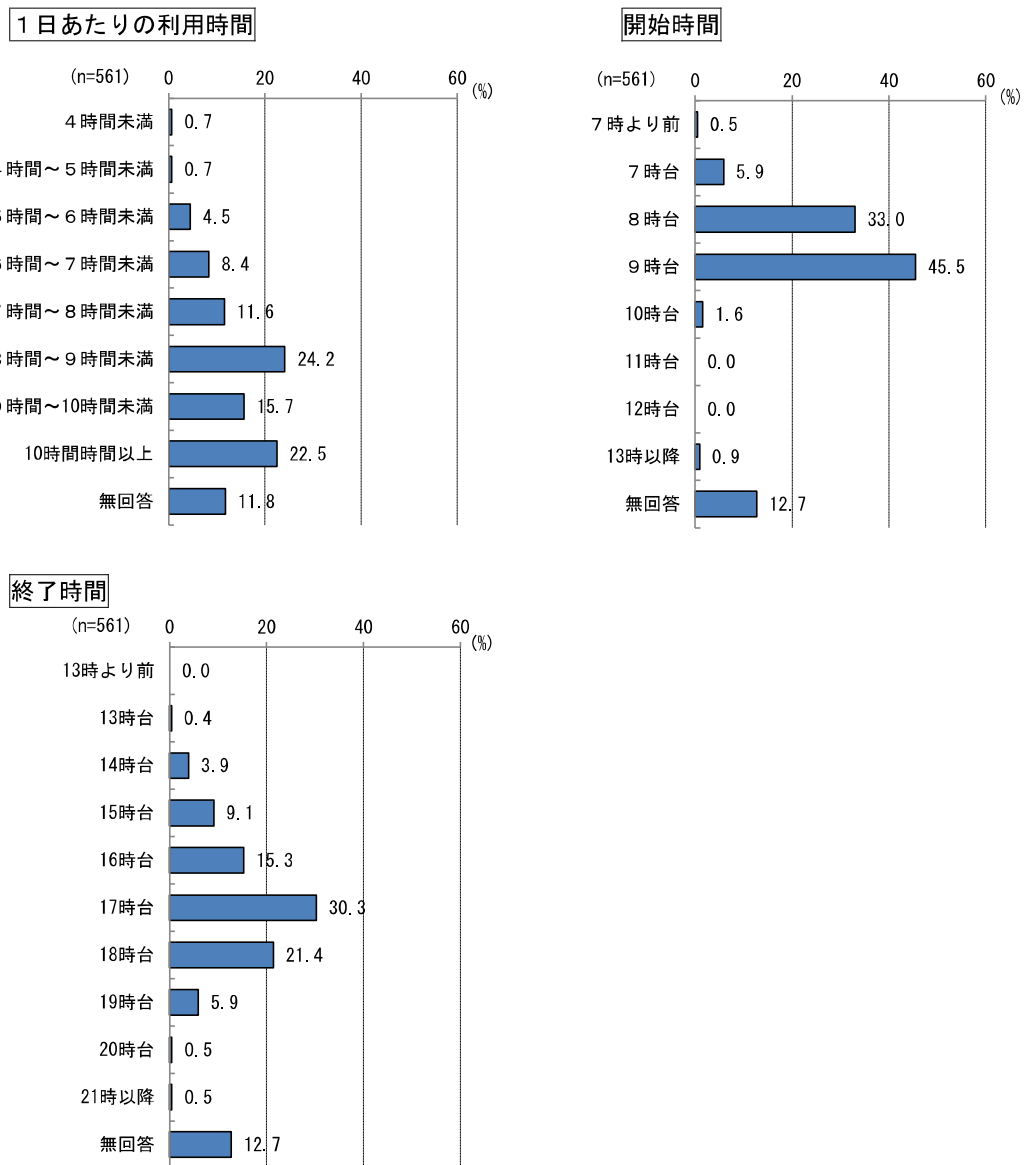
	n	幼稚園（通常の通園時）	幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）	幼稚園＋預かり保育（たまに利用）	認定こども園	保育園（所）	小規模（家庭的）保育事業所	事業所内保育施設	認可外保育施設	ベビーシッター	療育施設（児童発達支援）	その他	(%) 無回答
ひとり親	29	17.2	34.5	13.8	31.0	62.1	6.9	17.2	0.0	24.1	3.4	3.4	20.7
共働き（両親ともフルタイム）	233	24.5	48.9	23.6	42.1	71.2	13.7	11.2	5.2	11.6	3.0	1.7	5.2
フルタイム・パート	154	29.2	62.3	37.0	46.8	70.1	8.4	8.4	1.9	3.2	2.6	0.0	2.6
専業主婦（夫）	125	46.4	63.2	60.0	23.2	36.0	6.4	4.0	2.4	6.4	4.8	0.8	5.6
両親ともパート	1	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
両親とも無職	3	100.0	66.7	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

家族類型別にみると、“ひとり親”“共働き（両親ともフルタイム）”“フルタイム・パート”では「保育園（所）」が最も多くなっています。“専業主婦（夫）”では「幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）」が最も多く、次いで「幼稚園＋預かり保育（たまに利用）」が多くなっています。（表 3-3-1）

4. 働き方が変わった場合の1日あたりの利用希望時間

問11(4) あなたやあなたの配偶者の現在の働き方が変わった場合、幼稚園・保育施設等をどのくらいの時間利用したいですか。平日に定期的に利用する場合の希望利用時間等をご回答ください。

【図3-4 働き方が変わった場合の1日あたりの希望利用時間】



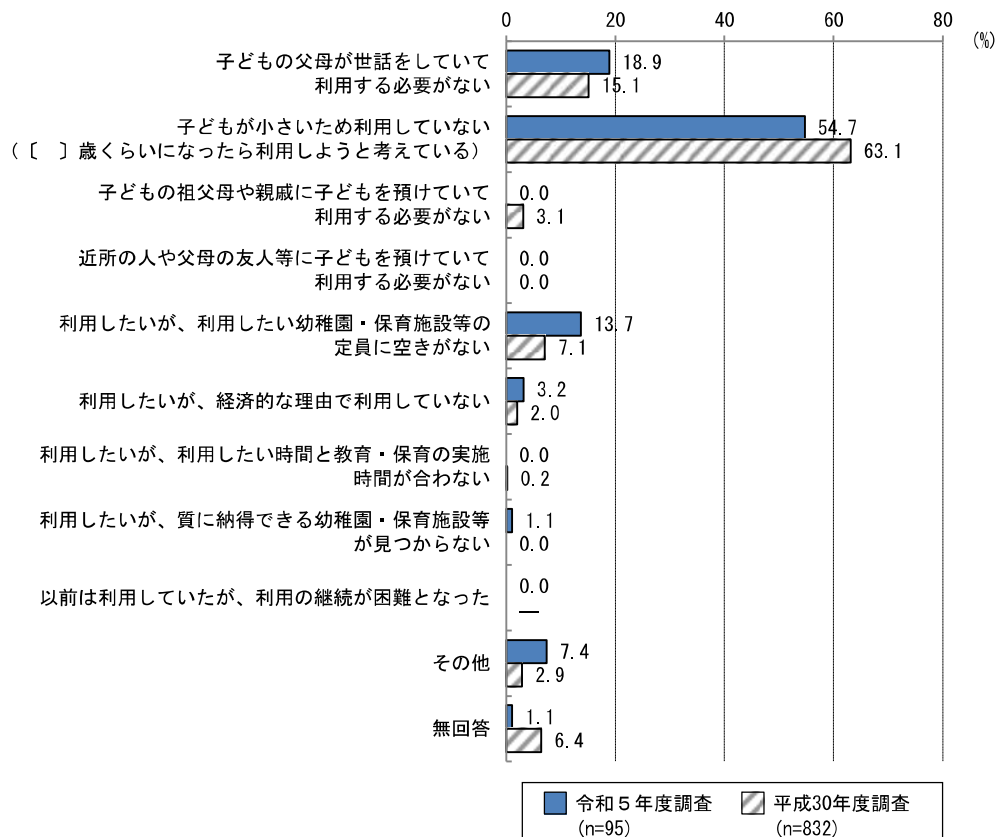
配偶者の働き方が変わった場合の1日あたりの希望利用時間は「8時間～9時間未満」(24.2%)が、希望する開始時間は「9時台」(45.5%)が、希望する終了時間は「17時台」(30.3%)がそれぞれ最も多くなっています。(図3-4)

5. 幼稚園・保育施設等を利用していない主な理由

「問11(1)で「2. 利用していない」と答えた方にうかがいます。」

問11(5) 幼稚園・保育施設等を利用していない主な理由は何ですか。(○は1つ)

【図3-5 幼稚園・保育施設等を利用していない主な理由】



※「以前は利用していたが、利用の継続が困難となった」は今回調査のみの選択肢。

幼稚園・保育施設等を利用していない主な理由は、「子どもが小さいため利用していない」が54.7%で最も多く、次いで「子どもの父母が世話をしている利用する必要がない」が18.9%、「利用したいが、利用したい幼稚園・保育施設等の定員に空きがない」が13.7%となっています。(図3-5)

□子どもの年齢別

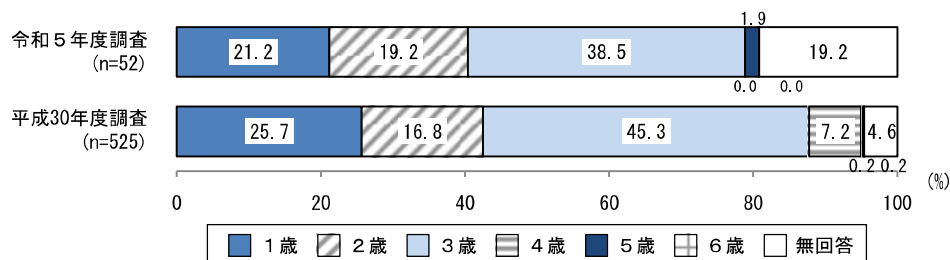
【表3-5-1 子どもの年齢別 幼稚園・保育施設等を利用していない主な理由】

	n	がし子 ないど いも の 利 用 す る 世 話 を	用子 して も が 小 さ い た め 利	利に 用子 すど も の 祖 父 母 が な い 親	て等 利に 用子 すど も の 友 人	近所 の 人 や 父 母 が な い 人	等た の 定 員 に 空 き が あ る 設	利用 し た い が 、 保 育 施 設 に 入 ら な い	い な 理 由 で 利 用 し て い な い	の 実 施 時 間 と い う が 、 教 育 に 関 心 が あ る が 、 保 育 施 設 に 入 ら な い	施 設 等 が あ る が 、 入 ら な い	利 用 し た い が 、 入 ら な い	と な つ た 利 用 の 困 難	が、 前 に 利 用 し て い た が 、 入 ら な い	そ の 他	無 回 答
0歳	66	21.2	53.0	0.0	0.0	0.0	13.6	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
1歳	20	15.0	50.0	0.0	0.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
2歳	7	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

子どもの年齢別にみると、いずれの年齢も「子どもが小さいため利用していない」が多くなっています。(表 3-5-1)

子どもが何歳くらいになったら利用したいか

【図3-5-2 子どもが何歳くらいになったら利用したいか】

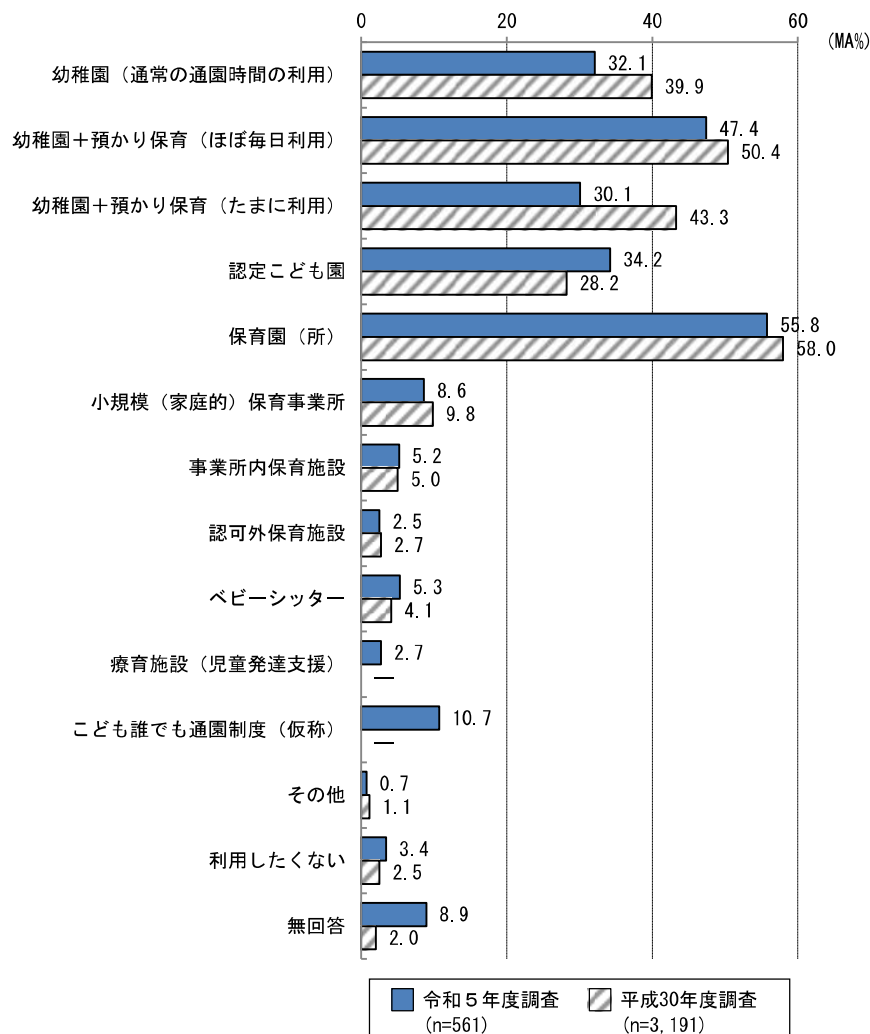


「子どもが小さいため利用していない」と回答した人の利用したいと考える子どもの年齢は、「3歳」が38.5%で最も多く、次いで「1歳」が21.2%となっています。(図 3-5-2)

6. 施設・保育施設等の今後の利用意向

問12(1) 宛名のお子さまについて、以下の施設・保育施設等を平日に定期的に利用したいですか。現在の利用有無に関わらず、選択肢から番号を選んで、利用したい順番に3つまでご回答ください。

【図3-6 施設・保育施設等の今後の利用意向(1番目、2番目、3番目の統合)】



※「療養施設（児童発達支援）」と「こども誰でも通園制度（仮称）」は今回調査のみの選択肢。

施設・保育施設等の今後の利用意向については、「保育園（所）」が55.8%で最も多く、次いで「幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）」が47.4%、「認定こども園」が34.2%となっています。（図3-6）

□子どもの年齢別

【表3-6-1 子どもの年齢別 施設・保育施設等の今後の利用意向(1番目、2番目、3番目の統合)】

	n	幼稚園 (通常 の通園 時)	幼稚園 + 預かり 保育 (ほぼ 毎日 利用)	幼稚園 + 預かり 保育 (たま に利 用)	認定 こども 園	保育 園(所)	事業 所 小規模 (家庭 的) 保 育	事業 所内 保育 施設	認可 外保 育施 設	ベ ビ ー シ ッ タ ー	援 療育 施設 (児童 発達 支 援)	(仮 称) こども 誰で も通 園制 度	利 用し たく ない	そ の 他	(%) 無 回 答
0歳	99	34.3	38.4	28.3	37.4	60.6	16.2	8.1	3.0	3.0	1.0	13.1	4.0	0.0	7.1
1歳	77	28.6	48.1	29.9	41.6	55.8	10.4	5.2	3.9	5.2	1.3	11.7	2.6	0.0	9.1
2歳	111	25.2	50.5	35.1	36.0	57.7	5.4	8.1	3.6	9.0	0.9	9.9	2.7	0.9	8.1
3歳	87	37.9	55.2	34.5	37.9	55.2	3.4	3.4	1.1	1.1	3.4	9.2	2.3	2.3	5.7
4歳	85	35.3	54.1	28.2	29.4	54.1	10.6	1.2	2.4	5.9	7.1	9.4	2.4	0.0	10.6
5歳	94	33.0	42.6	24.5	25.5	53.2	6.4	4.3	1.1	7.4	3.2	10.6	5.3	1.1	10.6

子どもの年齢別にみると、いずれの年齢も「保育所（園）」が最も多くなっています。“3歳”と“4歳”では、「幼稚園+預かり保育（ほぼ毎日利用）」も多くなっています。(表3-6-1)

□家族類型別

【表3-6-2 家族類型別 施設・保育施設等の今後の利用意向(1番目、2番目、3番目の統合)】

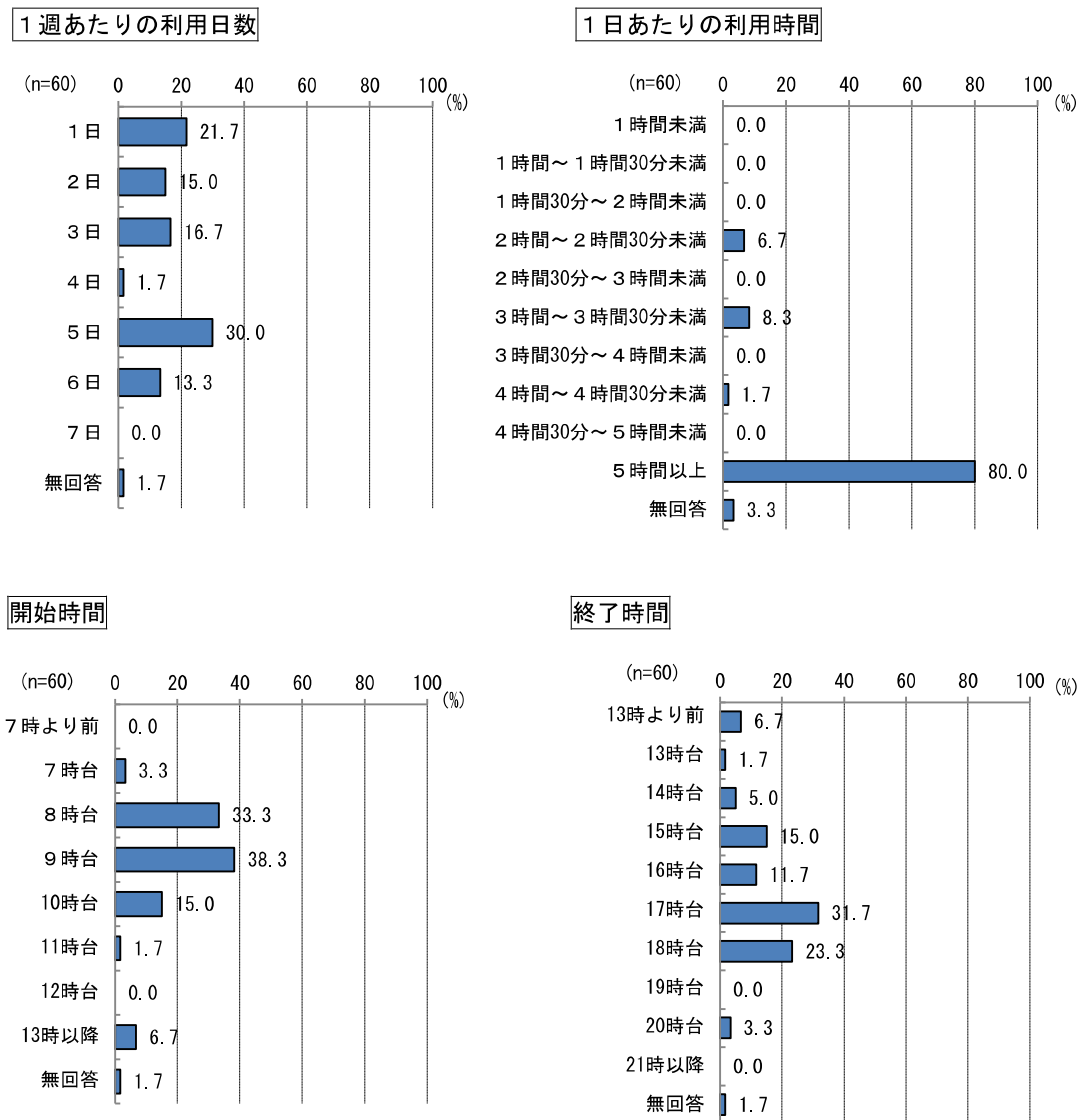
	n	幼稚園 (通常 の通園 時)	幼稚園 + 預かり 保育 (ほぼ 毎日 利用)	幼稚園 + 預かり 保育 (たま に利 用)	認定 こども 園	保育 園(所)	事業 所 小規模 (家庭 的) 保 育	事業 所内 保育 施設	認可 外保 育施 設	ベ ビ ー シ ッ タ ー	援 療育 施設 (児童 発達 支 援)	(仮 称) こども 誰で も通 園制 度	利 用し たく ない	そ の 他	(%) 無 回 答
ひとり親	29	13.8	37.9	6.9	44.8	58.6	6.9	10.3	0.0	10.3	3.4	6.9	3.4	6.9	17.2
共働き(両親ともフルタイム)	233	20.2	45.9	17.2	39.9	72.5	11.6	7.3	3.4	8.2	2.1	11.2	3.4	0.4	6.0
フルタイム・パート	154	27.3	51.9	35.1	40.3	60.4	8.4	4.5	1.9	1.9	3.9	9.1	4.5	0.0	7.1
専業主婦(夫)	125	67.2	53.6	56.8	18.4	24.0	4.8	1.6	2.4	4.0	2.4	14.4	2.4	0.8	4.0
両親ともパート	1	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
両親とも無職	3	33.3	33.3	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

家族類型別にみると、“ひとり親”“共働き(両親ともフルタイム)”“フルタイム・パート”では「保育園(所)」が、“専業主婦(夫)”では「幼稚園(通常に通園時間の利用)」が、それぞれ最も多くなっています。(表3-6-2)

7. こども誰でも通園制度(仮称)に希望する利用時間

「問12(1)で「11. こども誰でも通園制度（仮称）」を選択された方にうかがいます。」
 問12(2) 「こども誰でも通園制度（仮称）」をどのくらいの時間利用したいですか。希望利用時間等をご回答ください。

【図3-7 こども誰でも通園制度(仮称)の利用希望】



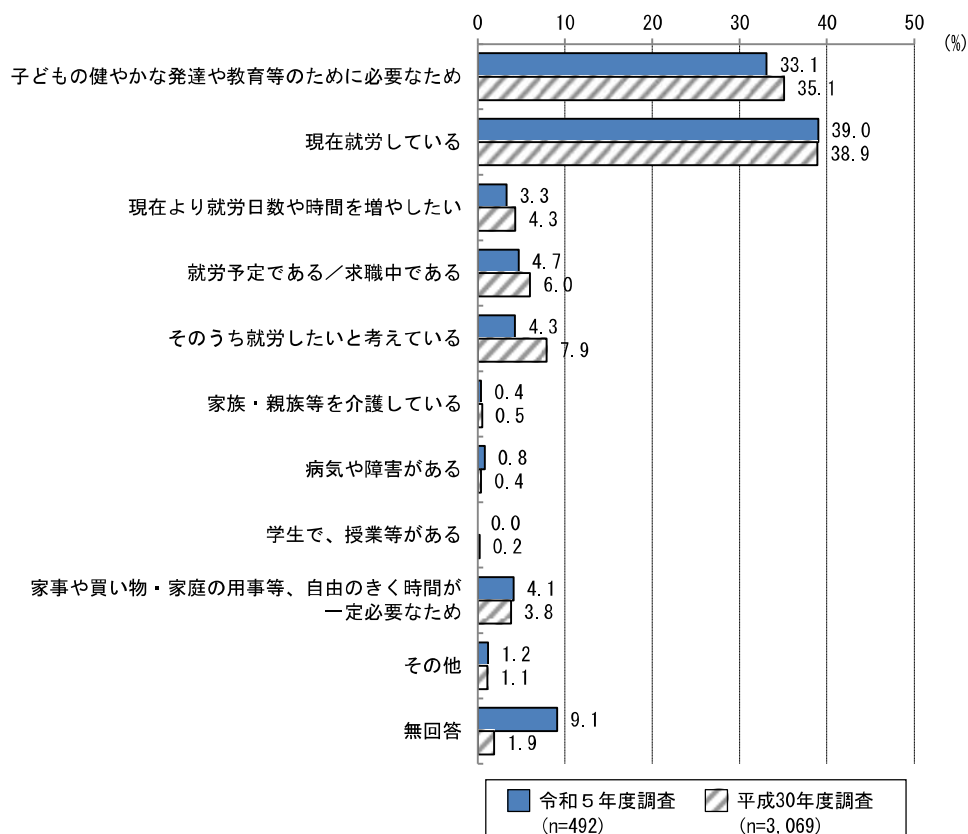
「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望について、1週あたりの利用日数は、「5日」（30.0%）が、1日あたりの利用時間は、「5時間以上」（80.0%）が最も多くなっています。また、希望する開始時間は、「9時台」（38.3%）が、希望する終了時間は、「17時台」（31.7%）が最も多くなっています。（図3-7）

8. 希望する施設・保育施設等を最も利用したい主な理由

「問12(1)の「1～12」を1つでも選んだ方にうかがいます。」

問12(3) 問12(1)で1番目とした理由は何ですか。(○は1つ)

【図3-8 希望する施設・保育施設等を最も利用したい主な理由】



希望する施設・保育施設等を最も利用したい主な理由は、「現在就労している」が39.0%と最も多く、次いで「子どもの健やかな発達や教育等のために必要なため」が33.1%となっています。(図3-8)

□利用したい施設別

【表3-8-1 利用したい施設別 希望する施設・保育施設等を最も利用したい主な理由】

	n	なや子どもの健やかな発達のため	現在就労している	現在より就労日数や時間を増やしたい	就労予定である／求職中	そのうち就労したいと考えている	家族・親族等を介護している	病気や障害がある	学生で、授業等がある	家事や買い物の自由・家庭の用事等、一定必要なため	その他	(%) 無回答
幼稚園（通常の通園時間の利用）	98	65.3	8.2	2.0	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	7.1	1.0	11.2
幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）	39	53.8	15.4	5.1	5.1	7.7	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	10.3
幼稚園＋預かり保育（たまに利用）	41	51.2	14.6	0.0	0.0	9.8	0.0	0.0	0.0	7.3	2.4	14.6
認定こども園	72	27.8	55.6	2.8	4.2	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	5.6
保育園（所）	206	14.6	59.2	2.4	8.3	2.4	0.5	1.5	0.0	1.5	0.5	9.2
小規模（家庭的）保育事業所	7	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設	4	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認可外保育施設	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ベビーシッター	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
療育施設（児童発達支援）	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
こども誰でも通園制度（仮称）	14	14.3	0.0	14.3	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	28.6	7.1	7.1
その他	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

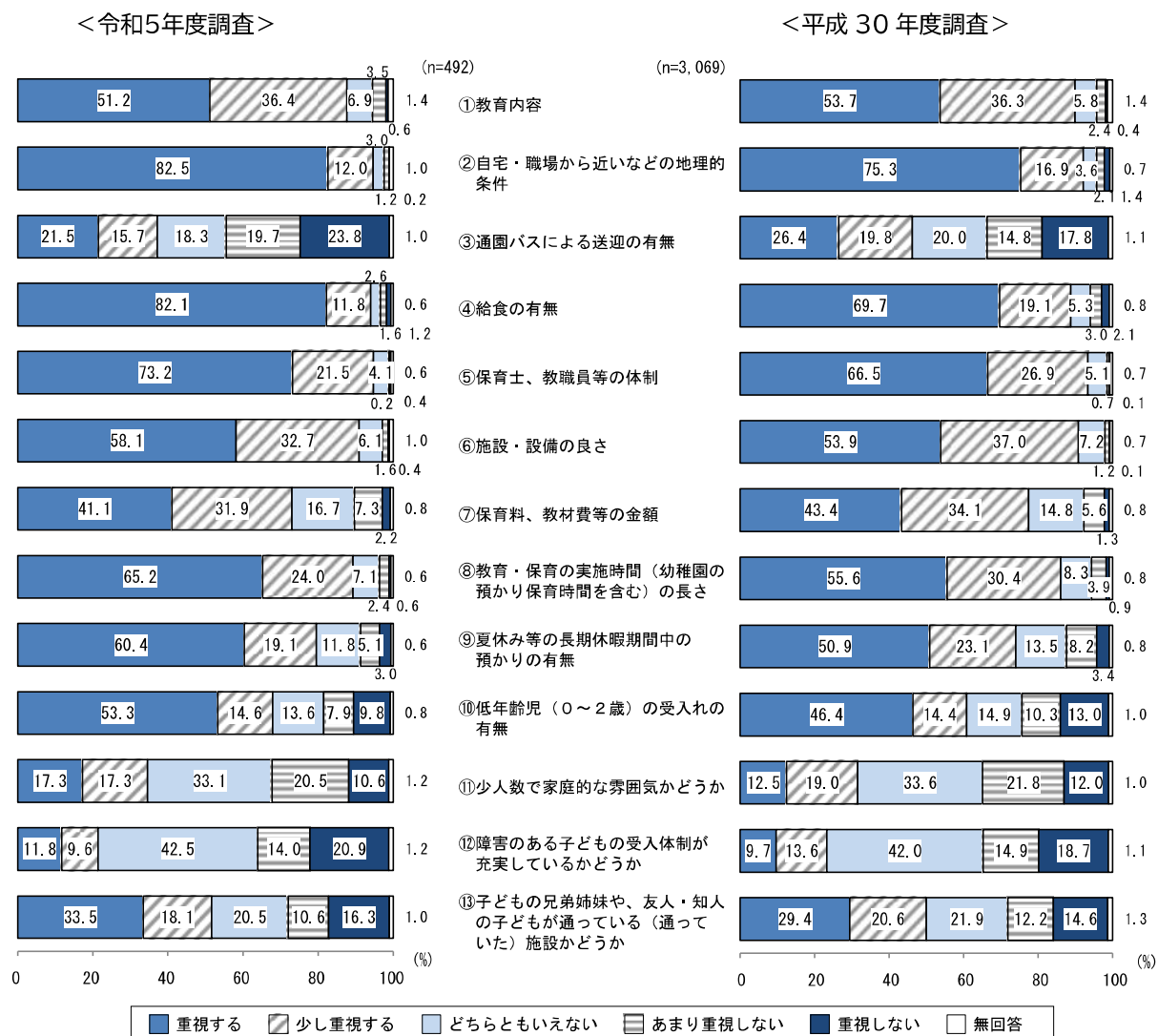
利用したい施設別にみると、“幼稚園”では「子どもの健やかな発達や教育等のために必要なため」が、“認定こども園”“保育園（所）”では「現在就労している」が、それぞれ最も多くなっています。（表3-8-1）

9. 利用する幼稚園・保育施設等を選択する際に重視する点

「問12(1)の「1～12」を1つでも選んだ方にうかがいます。」

問12(4) 利用する幼稚園・保育施設等を選択する際、重視する点について、①～⑬について、あなたのお考えをご回答ください。(〇はそれぞれ1つずつ)

【図3-9 利用する幼稚園・保育施設等を選択する際に重視する点】



利用する幼稚園・保育施設等を選択する際に重視する点について、「重視する」割合が高いのは、〔②自宅・職場から近いなどの地理的条件〕(82.5%)、〔④給食の有無〕(82.1%)、〔⑤保育士、教職員等の体制〕(73.2%) となっています。

前回調査と比較すると、〔②自宅・職場から近いなどの地理的条件〕は7.2ポイント、〔④給食の有無〕は12.4ポイント、それぞれ高くなっています。(図3-9)

□利用したい施設別

【表3-9-1 利用したい施設別 利用する幼稚園・保育施設等を選択する際に重視する点】

	n	教育 内容	地理的・ 自宅・職 場から 近いな どの 条件	通園 バスに よる送 迎の有 無	給食の 有無	保育士・ 教職員 等の体 制	施設・ 設備の 良さ	保育料・ 教材費 等の金 額	幼稚園・ 保育の 実施時 間（幼 稚園の 預かり 保育時 間を含 む）の 長さ	夏休み 等の長 期休暇 期間中 の預か りの有 無	低年齢 児（〇 ～2歳） の受 入れの 有無	少人数 で家庭 的な雰 囲気か どうか	障害が 充実に ある子 どもの 受入か どうか	知人の 子ども が通っ てい るか	子どもの 兄弟姉 妹や友 人・知 人の子 どもが 通って いる	無回 答
幼稚園（通常の通園時間の利用）	98	90.8	91.8	56.1	77.6	93.9	90.8	75.5	73.5	60.2	37.8	30.6	15.3	44.9	1.0	
幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）	39	92.3	92.3	56.4	87.2	100.0	97.4	66.7	100.0	74.4	51.3	41.0	20.5	46.2	0.0	
幼稚園＋預かり保育（たまに利用）	41	87.8	90.2	48.8	97.6	95.1	92.7	68.3	92.7	85.4	46.3	39.0	19.5	58.5	2.4	
認定こども園	72	95.8	100.0	23.6	100.0	98.6	95.8	81.9	93.1	87.5	83.3	33.3	20.8	59.7	0.0	
保育園（所）	206	80.6	96.1	24.3	99.0	93.7	88.8	70.9	93.2	85.4	83.0	33.0	25.2	54.4	0.5	
小規模（家庭的）保育事業所	7	100.0	85.7	42.9	100.0	85.7	71.4	57.1	71.4	85.7	100.0	57.1	28.6	42.9	0.0	
事業所内保育施設	4	75.0	75.0	25.0	100.0	75.0	75.0	75.0	100.0	100.0	75.0	75.0	25.0	25.0	0.0	
認可外保育施設	4	100.0	100.0	75.0	100.0	100.0	100.0	75.0	100.0	100.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
ベビーシッター	3	100.0	100.0	33.3	100.0	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	100.0	33.3	0.0	66.7	0.0	
療育施設（児童発達支援）	2	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	
こども誰でも通園制度（仮称）	14	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	85.7	92.9	78.6	64.3	28.6	14.3	42.9	0.0	
その他	2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	

利用したい施設別にみると、“幼稚園（通常の通園時間の利用）”では「保育士、教職員等の体制」が、“幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）”では「保育士、教職員等の体制」と「教育・保育の実施時間（幼稚園の預かり保育時間を含む）の長さ」が最も多くなっています。

“幼稚園＋預かり保育（たまに利用）”と“認定こども園”“保育園（所）”では「給食の有無」が最も多くなっています。また“認定こども園”では“自宅・職場から近いなどの地理的条件”も多くなっています。（表 3-9-1）

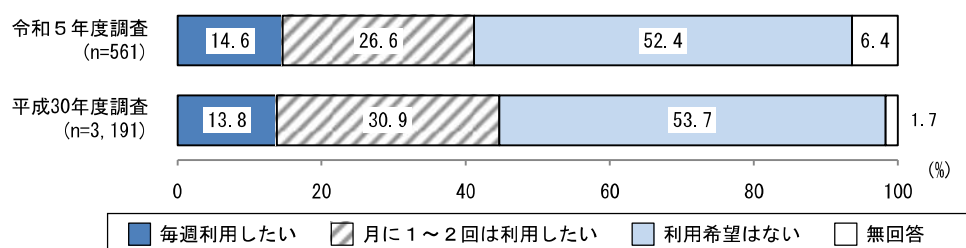
4 土曜日や日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望について

1. 土曜日・日曜日・祝日の利用希望

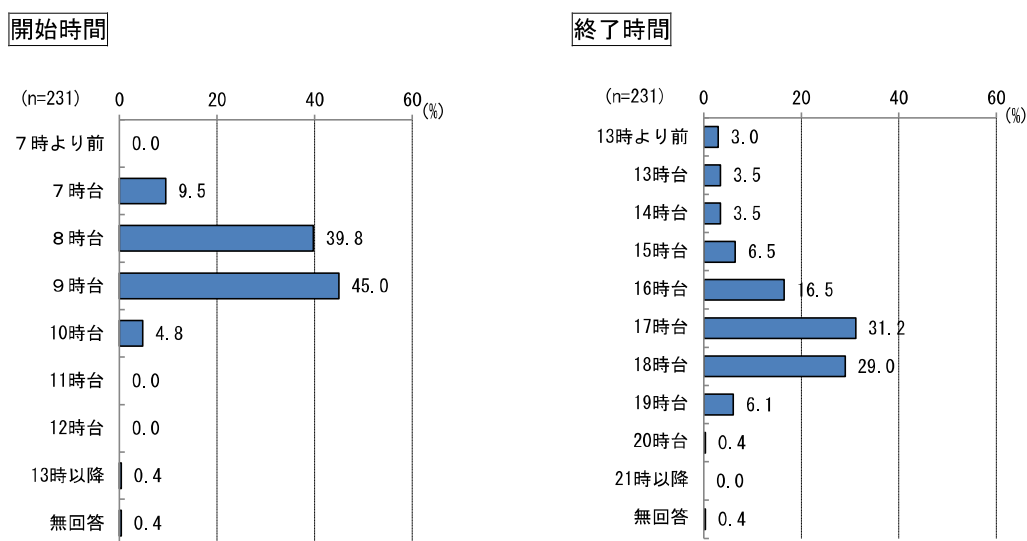
問13(1) 宛名のお子さまについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育施設等の利用（一時的な利用は除く。）を希望しますか。（○はそれぞれ1つずつ）。希望する場合は、利用したい時間を24時間制で（ ）内にご回答ください。

①土曜日の利用希望

【図4-1① 土曜日の利用希望】



【図4-1①-1 土曜日に利用したい時間帯】

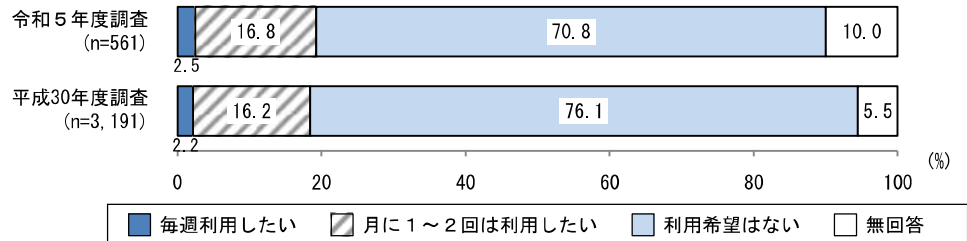


土曜日の利用希望は、「利用希望はない」が52.4%となっています。また「月に1～2回は利用したい」は26.6%、「毎週利用したい」は14.6%となっています。（図4-1①）

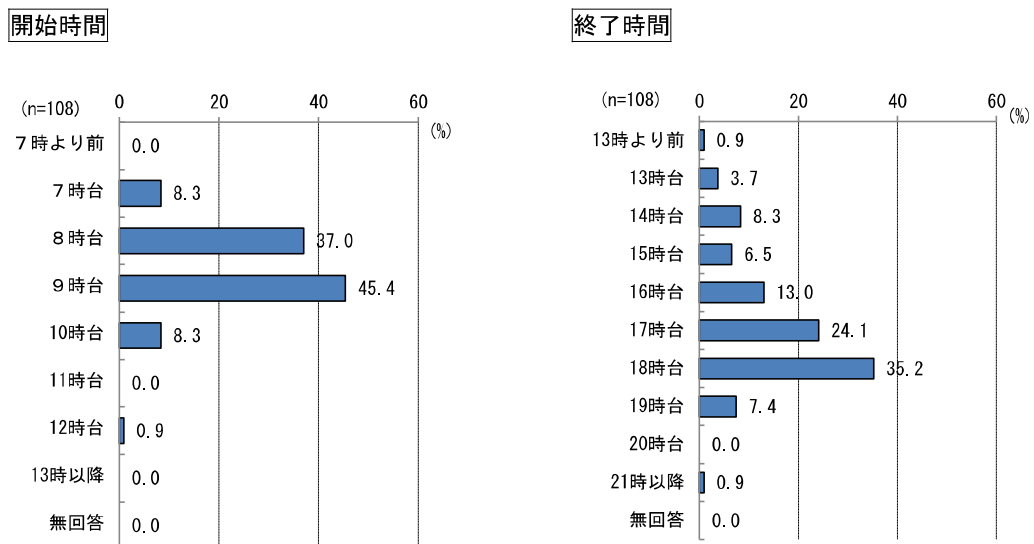
また、利用を希望している人の利用したい開始時間は「9時台」（45.0%）が、終了時間は「17時台」（31.2%）が最も多くなっています。（図4-1①-1）

②日曜日・祝日の利用希望

【図4-1② 日曜日・祝日の利用希望】



【図4-1②-1 日曜日・祝日に利用したい時間帯】



日曜日・祝日の利用希望は、「利用希望はない」が70.8%となっています。また「月に1～2回は利用したい」は16.8%、「毎週利用したい」は2.5%となっています。(図4-1②)

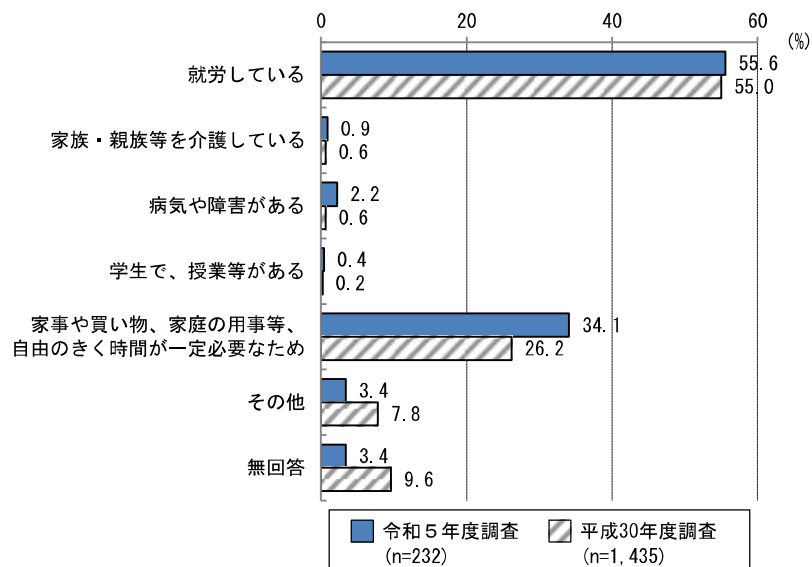
また、利用を希望している人の利用したい開始時間は、「9時台」(45.4%)が、終了時間は、「18時台」(35.2%)が最も多くなっています。(図4-1②-1)

2. 土曜日、日曜日・祝日に子どもを預けたい主な理由

《問13(1)で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。》

問13(2) 土曜日、日曜日・祝日にお子さまを預けたい主な理由は何ですか。(○は1つ)

【図4-2 土曜日、日曜日・祝日に子どもを預けたい主な理由】



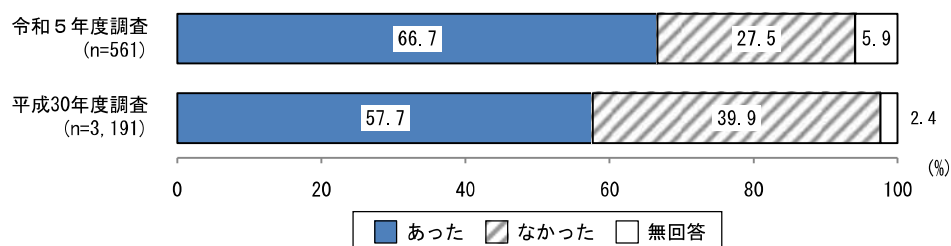
土曜日、日曜日・祝日に子どもを預けたい主な理由は、「就労している」が55.6%と最も多く、次いで「家事や買い物、家庭の用事等、自由のきく時間が一定必要なため」が34.1%となっています。(図4-2)

5 お子さまの病気・病後時の対応について

1. 子どもが病気・病後時で幼稚園・保育施設等を利用できなかったこと

問14(1) この1年間に、宛名のお子さまが病気や病気の回復期であるために、幼稚園・保育施設等を利用できなかったことがありましたか。(○は1つ)

【図5-1 子どもが病気・病後時で幼稚園・保育施設等を利用できなかったこと】



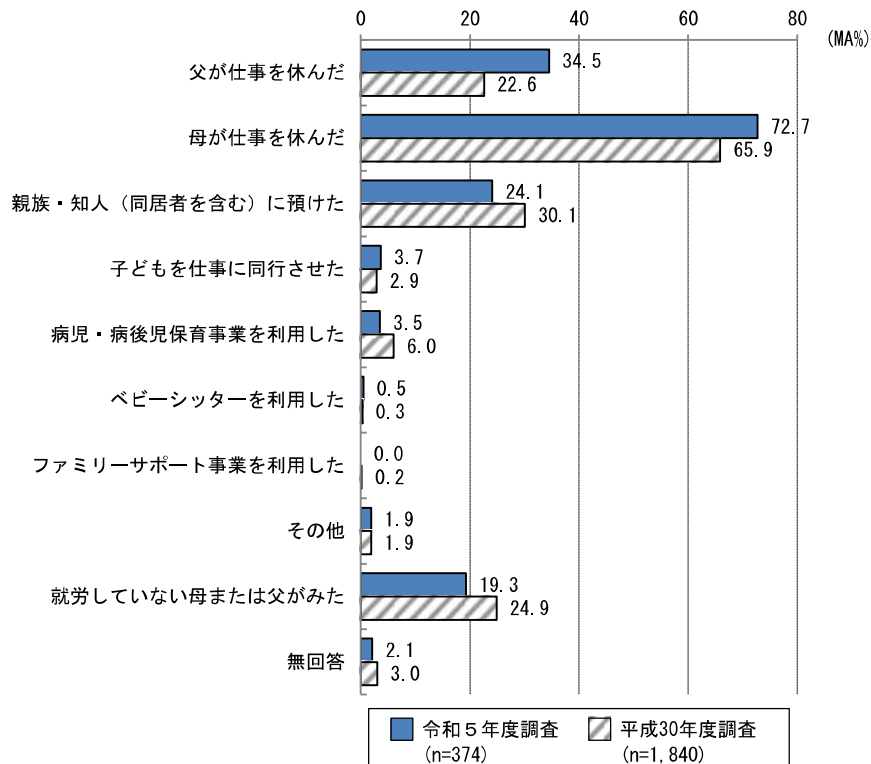
子どもが病気・病後時で幼稚園・保育施設等を利用できなかったことは、「あった」が66.7%、「なかった」が27.5%となっています。(図5-1)

2. 利用できなかったときの対処方法

「問14(1)で「1」と答えた方にうかがいます。」

問14(2) この1年間の対処方法とそれぞれの日数をご回答ください。(複数回答可)

【図5-2 利用できなかった時の対処方法】



利用できなかったときの対処方法は、「母が仕事を休んだ」が 72.7%と最も多く、次いで「父が仕事を休んだ」が 34.5%、「親族・知人（同居者を含む）に預けた」が 24.1%となっています。

前回調査と比較すると、「父が仕事を休んだ」は 11.9 ポイント、「母が仕事を休んだ」は 6.8 ポイント高くなっています。(図 5-2)

□家族類型別

【表5-2-1 家族類型別 利用できなかった時の対処方法】

	n	父が仕事を休んだ	母が仕事を休んだ	含親族・知人に預けた	子どもを仕事に同行させた	病児・病後児保育事業を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリーサポート事業を利用した	その他	は就労していない母または父がみた	無回答
ひとり親	20	0.0	70.0	35.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	5.0
共働き（両親ともフルタイム）	164	54.3	88.4	37.2	6.7	5.5	0.6	0.0	3.0	1.8	2.4
フルタイム・パート	117	25.6	89.7	17.9	0.0	2.6	0.0	0.0	1.7	5.1	0.9
専業主婦（夫）	68	14.7	8.8	1.5	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0	83.8	2.9
両親ともパート	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
両親とも無職	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

家族類型別にみると、“ひとり親”“共働き（両親ともフルタイム）”“フルタイム・パート”では「母が仕事を休んだ」が、“専業主婦（夫）”では「就労していない母または父がみた」が、それぞれ最も多くなっています。（表 5-2-1）

対処方法別の日数

【表5-2-2 利用できなかった時の対処方法別の日数】

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日以上	無回答
父が仕事を休んだ	129	14.0	21.7	24.0	3.9	14.7	1.6	17.1	3.1
母が仕事を休んだ	272	2.9	8.1	11.4	4.4	18.0	2.9	45.6	6.6
親族・知人に預けた	90	10.0	12.2	23.3	5.6	14.4	1.1	24.4	8.9
子どもを仕事に同行させた	14	7.1	7.1	28.6	14.3	0.0	0.0	35.7	7.1
病児・病後児保育事業を利用した	13	15.4	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	30.8	7.7
ベビーシッターを利用した	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
ファミリーサポート事業を利用した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の対処方法をした	7	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	42.9	0.0
就労していない母または父がみた	72	1.4	0.0	4.2	1.4	23.6	0.0	33.3	36.1

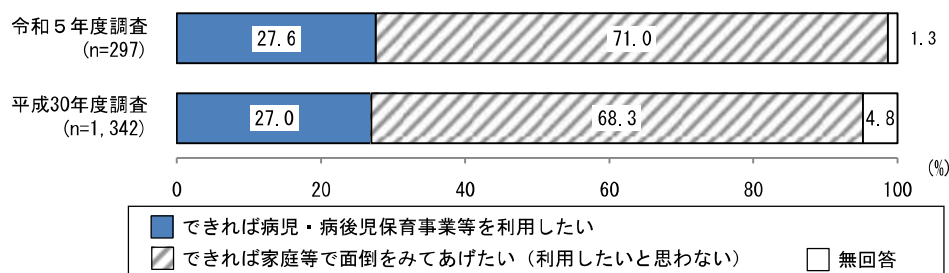
“父が仕事を休んだ”は「3日」（24.0％）が、“母が仕事を休んだ”は「7日以上」（45.6％）が、“親族・知人に預けた”は「7日以上」（24.4％）がそれぞれ最も多くなっています。（表 5-2-2）

3. 病児・病後児保育事業等の利用意向

「問14(2)で「1～4」と答えた方にうかがいます。」

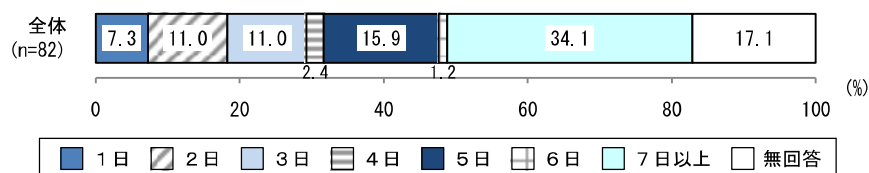
問14(3) その際、できれば病児・病後児保育事業等を利用したいと思いましたが。(○は1つ) また利用したい日数についてもご回答ください。

【図5-3 病児・病後児保育事業等の利用意向】



利用したい日数

【図5-3-1 病児・病後児保育事業等の希望利用日数】



病児・病後児保育事業等の利用意向は、「できれば病児・病後児保育事業等を利用したい」が27.6%、「できれば家庭等で面倒をみてあげたい (利用したいと思わない)」が71.0%となっています。(図5-3)

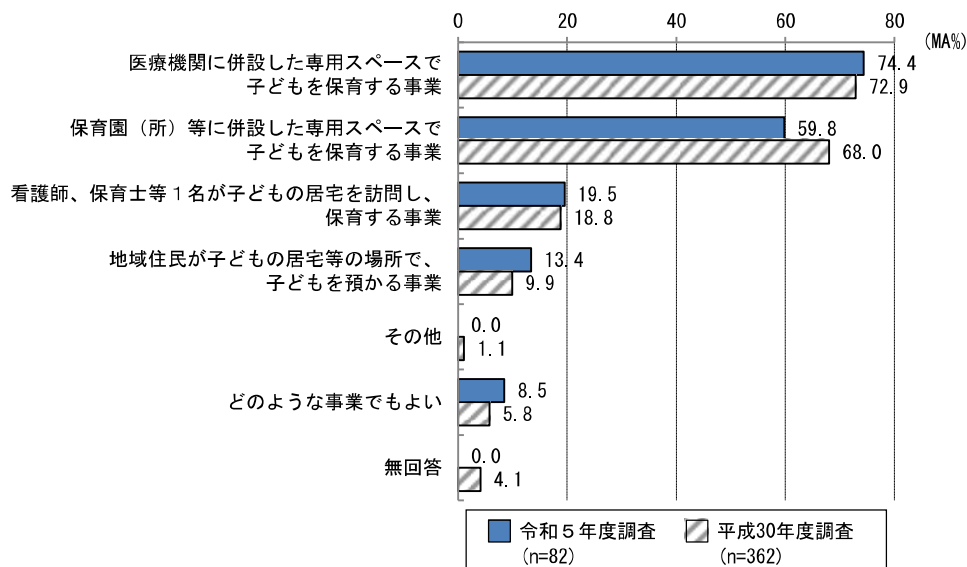
利用したい人の希望する日数は、「7日以上」が34.1%と最も多く、次いで「5日」が15.9%、「2日」、「3日」がそれぞれ11.0%となっています。(図5-3-1)

4. 病気または病後の子どもを預ける場合に希望する事業

《問14(3)で「1」と答えた方にうかがいます。》

問14(4) 病気または病後の子どもを預ける場合、どのような事業を希望しますか。(複数回答可)

【図5-4 病気または病後の子どもを預ける場合に希望する事業】



病気または病後の子どもを預ける場合に希望する事業は、「医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が74.4%と最も多く、次いで「保育園（所）等に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が59.8%となっています。

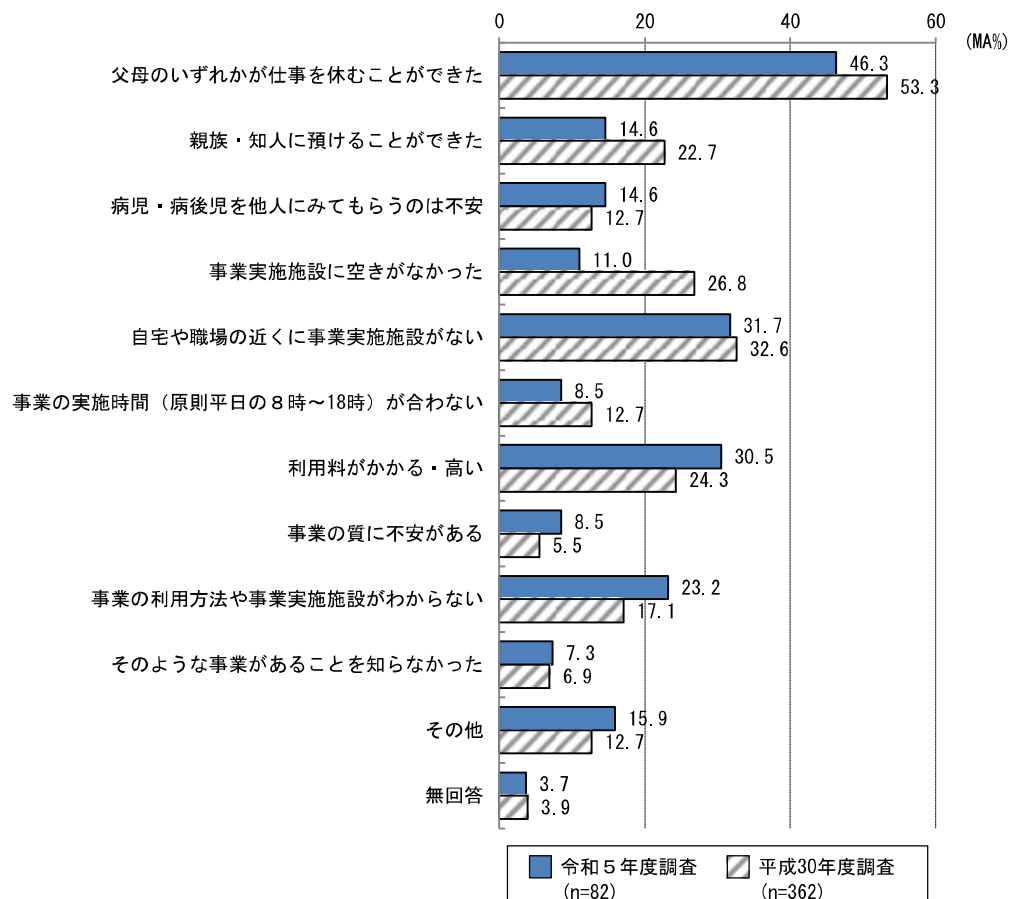
前回調査と比較すると、「保育園（所）等に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が8.2ポイント低くなっています。（図5-4）

5. 病児・病後児保育事業等を実際に利用しなかった理由

「問14(3)で「1」と答えた方にうかがいます。」

問14(5) 病児・病後児保育事業等を実際に利用しなかった理由はですか。(複数回答可)

【図5-5 病児・病後児保育事業等を実際に利用しなかった理由】



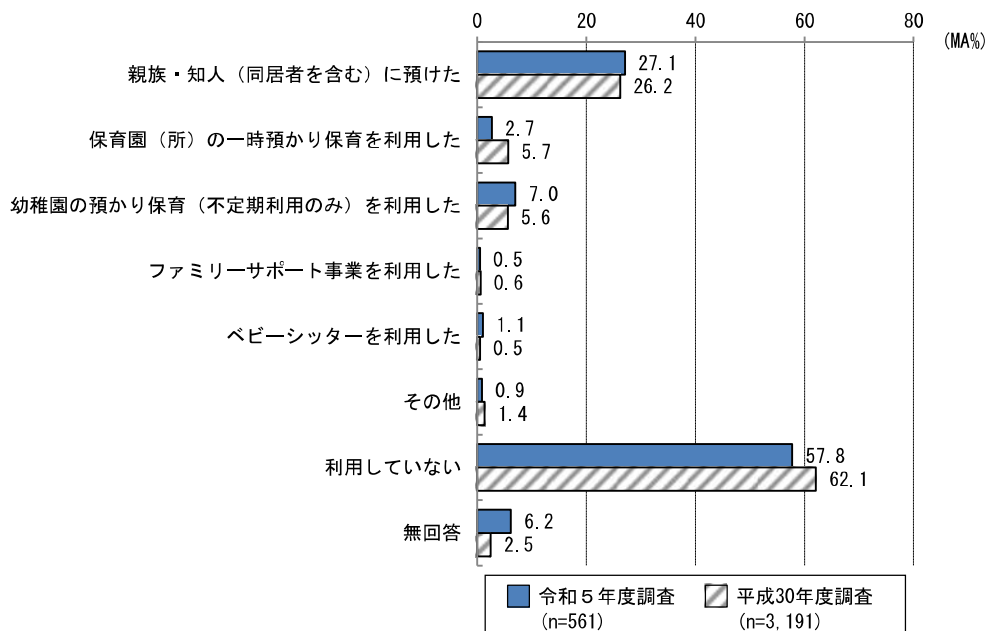
病児・病後児保育事業等を実際に利用しなかった理由は、「父母のいずれかが仕事を休むことができた」が46.3%と最も多く、次いで「自宅や職場の近くに事業実施施設がない」が31.7%、「利用料がかかる・高い」が30.5%、「事業の利用方法や事業実施施設がわからない」が23.2%となっています。(図5-5)

6 お子さまの宿泊を伴わない日中の一時預かりについて

1. 宿泊を伴わない日中の一時預かりの利用有無

問15(1) 宛名のお子さまについて、この1年間に、宿泊を伴わない日中の一時預かりを利用したことがありますか。(複数回答可)。利用したことがある場合は、()内にそれぞれの日数(半日程度でも1日とみなします)をご回答ください。

【図6-1 宿泊を伴わない日中の一時預かりの利用有無】



一時預かり等の年間利用日数

【表6-1-1 宿泊を伴わない日中の一時預かりの年間利用日数】

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日以上	無回答
親族・知人に預けた	152	23.7	7.9	11.2	2.0	13.2	1.3	34.9	5.9
保育園(所)の一時預かり保育を利用した	15	20.0	0.0	0.0	6.7	20.0	0.0	53.3	0.0
幼稚園の預かり保育を利用した	39	5.1	2.6	20.5	5.1	20.5	2.6	41.0	2.6
ファミリーサポート事業を利用した	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
ベビーシッターを利用した	6	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
その他の方法で預けた	5	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0

宿泊を伴わない日中の一時預かりの利用有無は、「利用していない」が57.8%と最も高く、次いで「親族・知人(同居者を含む)に預けた」が27.1%となっています。(図6-1)

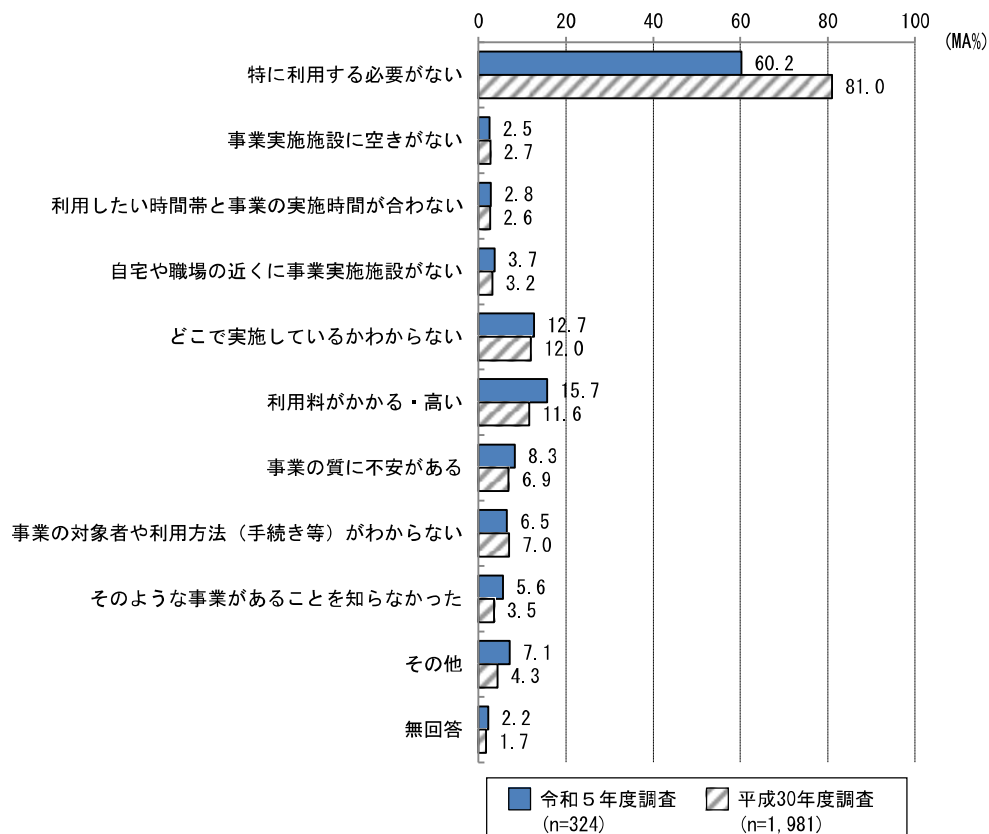
年間利用日数は、「ベビーシッターを利用した」と「その他の方法で預けた」以外の項目では、「7日以上」が最も多くなっています。(表6-1-1)

2. 一時預かりを利用していない理由

《問15(1)で「7」と答えた方にうかがいます。》

問15(2) 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

【図6-2 宿泊を伴わない日中の一時預かりの利用有無】



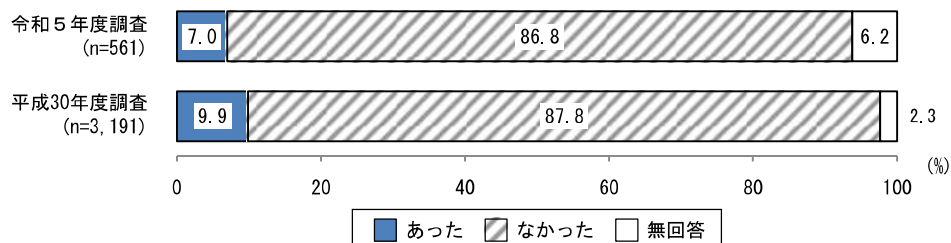
一時預かりを利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が60.2%と最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が15.7%、「どこで実施しているかわからない」が12.7%となっています。(図6-2)

7 お子さまの宿泊を伴う一時預かりについて

1. 泊まりがけで家族以外に預けようとしたことの有無

問16(1) 宛名のお子さまについて、この1年間に、泊まりがけで家族以外に預けようとしたこと（預け先が見つからなかった場合を含む。）はありましたか。（○は1つ）

【図7-1 お子さまの宿泊を伴う一時預かりについて】



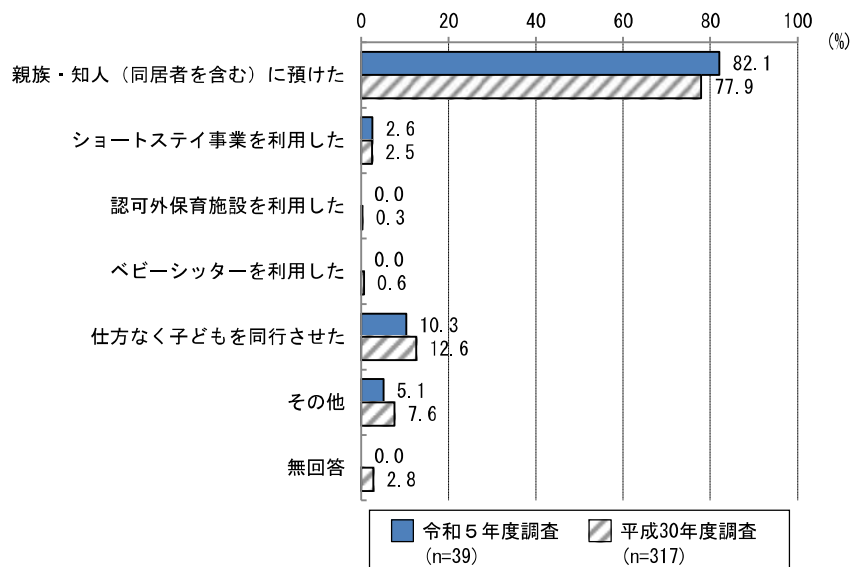
泊まりがけで家族以外に預けようとしたことは、「あった」が7.0%、「なかった」が86.8%となっています。（図7-1）

2. 家族以外に預けた際の対処方法

「問16(1)で「1」と答えた方にうかがいます。」

問16(2) この一年間の対処方法とそれぞれの泊数をご回答ください。(複数回答可)

【図7-2 家族以外に預けた際の対処方法】



家族以外に預けた際の対処方法は、「親族・知人（同居者を含む）に預けた」が82.1%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が10.3%、「ショートステイ事業を利用した」が2.6%となっています。（図7-2）

対処方法ごとの年間泊数

【表7-2-1 対処方法ごとの年間泊数】

	n	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊以上	無回答
親族・知人に預けた	32	50.0	9.4	0.0	9.4	6.3	0.0	18.8	6.3
ショートステイ事業を利用した	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認可外保育施設を利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ベビーシッターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子どもを同行させた	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
その他の対処方法をした	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

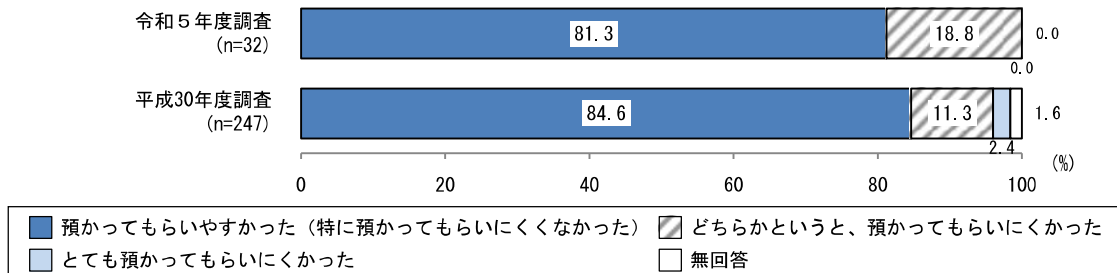
対処方法ごとの年間泊数について、「親族・知人に預けた」は「1泊」が最も多くなっています。（表7-2-1）

3. 家族以外に預けた際の状況

「問16(2)で「1」と答えた方にうかがいます。」

問16(3) その際は預かってもらいやすい状況でしたか。(○は1つ)

【図7-3 家族以外に預けた際の状況】



家族以外に預けた際の状況は、「預かってもらいやすかった（特に預かってもらいにくくなかった）」が81.3%、「どちらかというと、預かってもらいにくかった」が18.8%となっています。（図7-3）

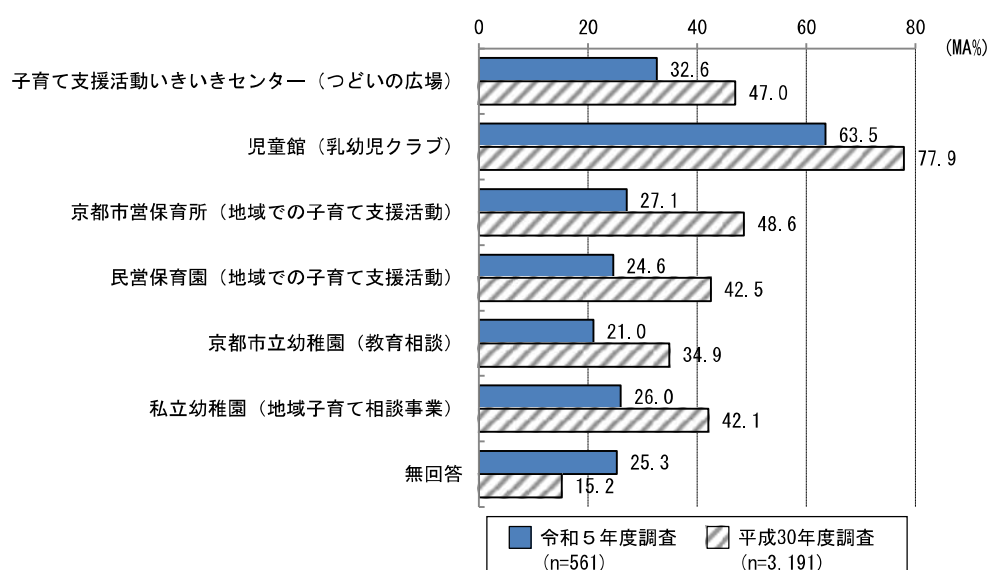
8 地域の子育て支援のための事業の利用等について

1. 知っている地域の子育て支援事業

問17(1) 地域の子育て支援事業の利用等についてご回答ください。(複数回答可) 既に利用している場合は、「現在」と「希望」の利用回数を()内にご回答ください。

①知っている地域の子育て支援事業

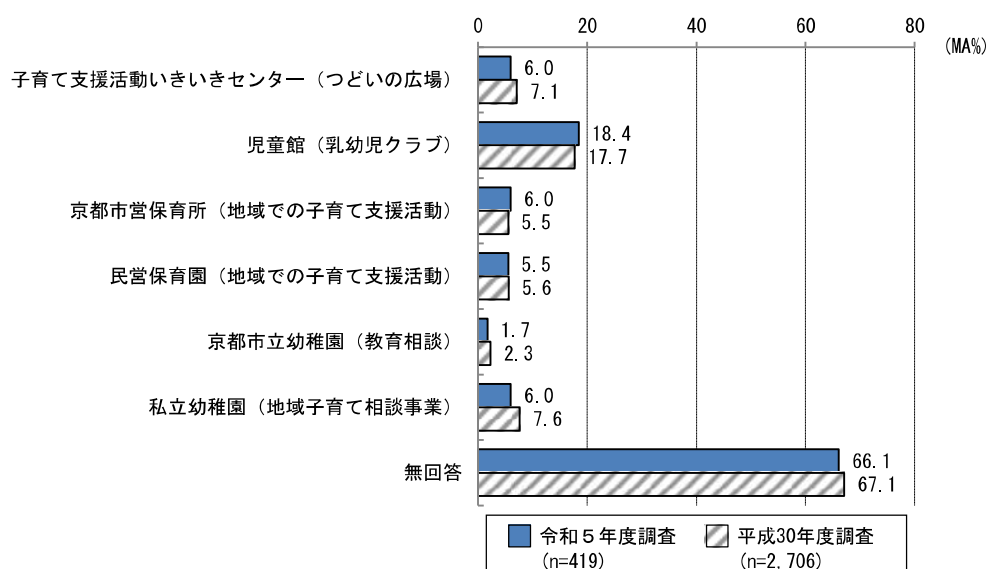
【図8-1① 知っている地域の子育て支援事業】



知っている地域の子育て支援事業は、「児童館（乳幼児クラブ）」が63.5%と最も多く、次いで「子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）」が32.6%となっています。(図8-1①)

②利用している地域の子育て支援事業

【図8-1② 利用している地域の子育て支援事業】



利用している地域の子育て支援事業は、「児童館（乳幼児クラブ）」が 18.4%と最も多く、次いで「子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）」、「京都市営保育所（地域での子育て支援活動）」、「私立幼稚園（地域子育て相談事業）」がそれぞれ 6.0%となっています。（図8-1②）

③利用している事業の利用回数

1週あたり
現在

【表8-1③-1 利用している事業の1週間あたりの利用回数(現在)】

	n	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	(%) 無 回 答
①子育て支援活動いきいきセンター	25	16.0	0.0	8.0	0.0	4.0	0.0	0.0	72.0
②児童館	77	23.4	11.7	1.3	1.3	1.3	1.3	0.0	59.7
③京都市営保育所	25	0.0	0.0	12.0	4.0	36.0	12.0	0.0	36.0
④民営保育園	23	4.3	0.0	0.0	4.3	30.4	4.3	0.0	56.5
⑤京都市立幼稚園	7	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1
⑥私立幼稚園	25	4.0	4.0	0.0	0.0	36.0	0.0	0.0	56.0

1月あたり
現在

【表8-1③-2 利用している事業の1ヶ月あたりの利用回数(現在)】

	n	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回 以上	(%) 無 回 答
①子育て支援活動いきいきセンター	25	28.0	12.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.0
②児童館	77	33.8	10.4	3.9	5.2	0.0	0.0	1.3	45.5
③京都市営保育所	25	12.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	76.0
④民営保育園	23	17.4	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	8.7	69.6
⑤京都市立幼稚園	7	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1
⑥私立幼稚園	25	24.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	44.0

1週あたり
希望

【表8-1③-3 利用している事業の1週間あたりの利用回数(希望)】

	n	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	(%) 無 回 答
①子育て支援活動いきいきセンター	25	16.0	12.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	64.0
②児童館	77	19.5	9.1	3.9	1.3	2.6	0.0	0.0	63.6
③京都市営保育所	25	0.0	0.0	8.0	4.0	28.0	12.0	0.0	48.0
④民営保育園	23	4.3	0.0	0.0	4.3	26.1	8.7	0.0	56.5
⑤京都市立幼稚園	7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4
⑥私立幼稚園	25	8.0	4.0	0.0	0.0	8.0	12.0	0.0	68.0

1月あたり
希望

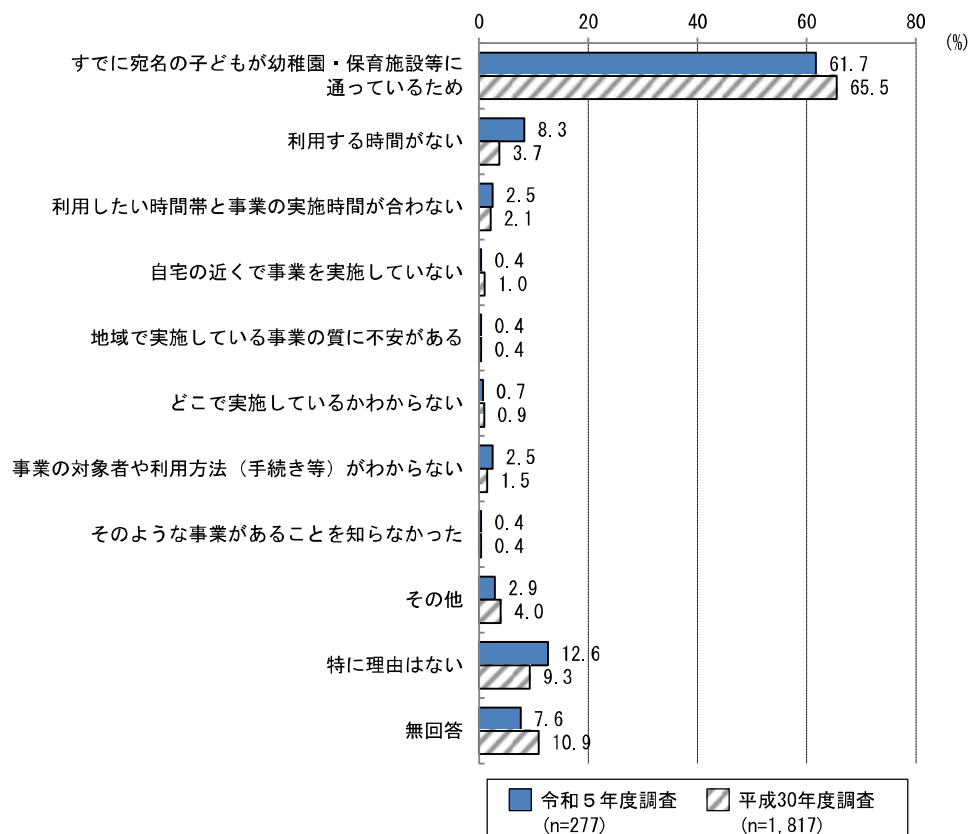
【表8-1③-4 利用している事業の1ヶ月あたりの利用回数(希望)】

	n	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回 以上	(%) 無 回 答
①子育て支援活動いきいきセンター	25	28.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.0
②児童館	77	23.4	5.2	3.9	10.4	0.0	0.0	0.0	57.1
③京都市営保育所	25	12.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0	76.0
④民営保育園	23	13.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	8.7	69.6
⑤京都市立幼稚園	7	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1
⑥私立幼稚園	25	28.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	64.0

2. 地域の子育て支援事業を利用していない主な理由

《問17(1)の①～⑥のいずれの事業も利用していない方にうかがいます。》
問17(2) 現在事業を利用していない主な理由は何ですか。(〇は1つ)

【図8-2 地域の子育て支援事業を利用していない主な理由】



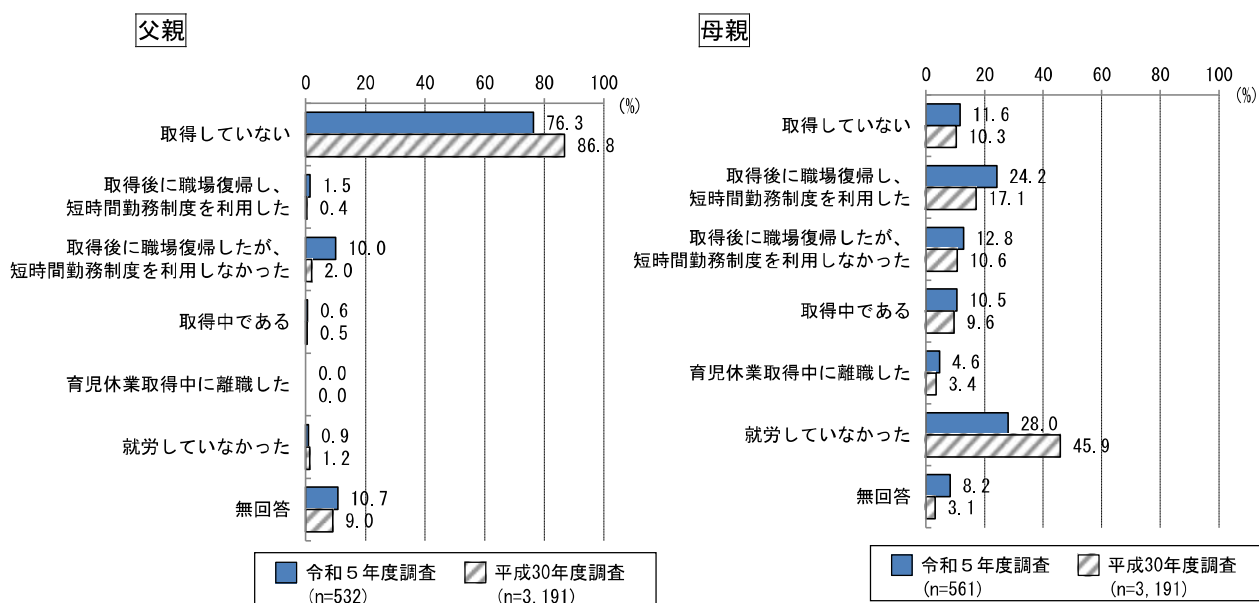
地域の子育て支援事業を利用していない主な理由は、「すでに宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため」が61.7%と最も多く、次いで「利用する時間がない」が8.3%となっています。(図8-2)

9 育児休業や短時間勤務制度の職場の両立支援制度について

1. 父親・母親の育児休業の取得状況

問18(1) 宛名のお子さまが生まれたときの育児休業の取得について、父母それぞれに対してお答えください。(〇は1つ)

【図9-1 父親・母親の育児休業の取得状況】



父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が76.3%と最も多く、次いで「取得後に職場復帰したが、短時間勤務制度を利用しなかった」が10.0%となっています。

母親の育児休業の取得状況は、「就労していなかった」が28.0%と最も多く、次いで「取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した」が24.2%となっています。

前回調査と比較すると、父親は『取得している』（「取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した」～「育児休業取得中に離職した」の合計）割合が12.1%で、前回（2.9%）より9.2ポイント高くなっています。母親は『取得している』割合が52.1%で、前回（40.7%）より11.4ポイント高くなっています。（図9-1）

□家族類型別

【表9-1-1 家族類型別 父親・母親の育児休業の取得状況】

		n	取得 してい ない	短 時 間 勤 務 制 度 を 利 用 し た	取 得 後 に 職 場 復 帰 し 、 利 用 し な か つ た	取 得 中 で あ る	育 児 休 業 取 得 中 に 離 職 し た	就 労 し て い な か つ た	(%) 無 回 答
父 親	ひとり親	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	共働き（両親ともフルタイム）	233	79.0	1.7	11.2	0.0	0.0	0.0	8.2
	フルタイム・パート	154	83.1	1.3	7.1	1.3	0.0	1.3	5.8
	専業主婦（夫）	125	72.0	1.6	12.8	0.8	0.0	1.6	11.2
	両親ともパート	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	両親とも無職	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
母 親	ひとり親	29	27.6	17.2	13.8	3.4	0.0	31.0	6.9
	共働き（両親ともフルタイム）	233	9.4	40.8	21.0	18.5	1.7	4.3	4.3
	フルタイム・パート	154	14.9	22.1	9.7	8.4	7.1	34.4	3.2
	専業主婦（夫）	125	7.2	1.6	3.2	1.6	8.8	65.6	12.0
	両親ともパート	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	両親とも無職	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

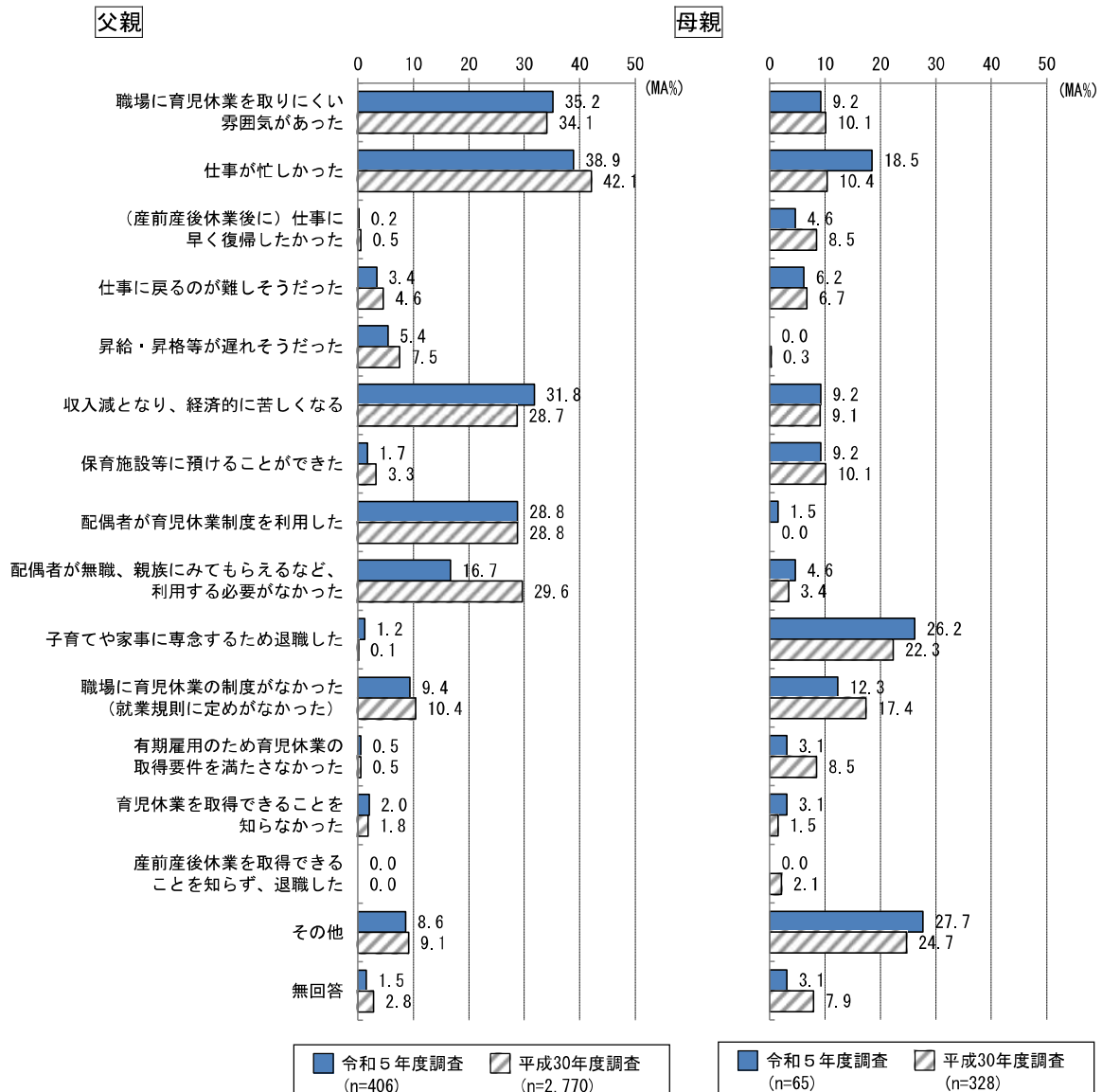
家族類型別にみると、父親はいずれの家族類型も「取得していない」が最も多くなっています。母親は、“ひとり親”と“フルタイム・パートタイム”と“専業主婦（夫）”は「就労していなかった」が、“共働き（両親ともフルタイム）”は「取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した」が、それぞれ最も多くなっています。（表 9-1-1）

2. 父親・母親が育児休業を取得していない理由

「問18(1)で「1」と答えた方にうかがいます。」

問18(2) その方が、育児休業を取得していない理由は何ですか。(複数回答可)

【図9-2 父親・母親が育児休業を取得していない理由】



育児休業を取得していない理由は、父親は「仕事が忙しかった」(38.9%)が、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」(26.2%)が最も多くなっています。次いで父親では「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(35.2%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(31.8%)が多くなっており、母親では「仕事が忙しかった」(18.5%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(12.3%)が多くなっています。(図9-2)

□家族類型別

【表9-2-1 家族類型別 父親・母親が育児休業を取得していない理由】

(%)																				
		n	職場に育児休業を取りにくい 雰囲気があった	仕事が忙しかった	（産前産後休業後に）仕事 に早く復帰したかった	仕事に戻るのが難しそう だった	昇給・昇格等が遅れそう だった	収入減となり、経済的に苦 しくなる	保育施設等に預けることが できた	配偶者が育児休業制度を利 用した	配偶者が無職、親族にみても なれるなど、利用するに必 要がなかった	配偶者が無職、退職した	子育てや家事に専念するた め退職した	職場に育児休業の制度がな かった（就業規則に定めがな かった）	取得要件を満たさなかった	有期雇用のため育児休業の 取得要件を満たさなかった	育児休業を取得できること を知らなかった	産前産後休業を取得できる ことを知らず、退職した	その他	無回 答
父親	ひとり親	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	共働き（両親ともフルタイム）	184	33.2	35.3	0.5	3.3	4.3	31.5	1.6	46.7	3.8	0.5	7.1	1.1	3.3	0.0	10.9	1.1		
	フルタイム・パート	128	39.1	43.0	0.0	2.3	4.7	38.3	2.3	19.5	22.7	1.6	12.5	0.0	0.8	0.0	7.0	0.8		
	専業主婦（夫）	90	34.4	41.1	0.0	5.6	8.9	23.3	1.1	6.7	35.6	2.2	10.0	0.0	1.1	0.0	6.7	2.2		
	両親ともパート	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	両親とも無職	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
母親	ひとり親	8	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0		
	共働き（両親ともフルタイム）	22	13.6	31.8	13.6	4.5	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0	4.5	0.0	40.9	0.0		
	フルタイム・パート	23	4.3	4.3	0.0	8.7	0.0	4.3	13.0	0.0	4.3	34.8	13.0	4.3	0.0	0.0	26.1	0.0		
	専業主婦（夫）	9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	44.4	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1		
	両親ともパート	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	両親とも無職	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

家族類型別にみると、父親は“共働き（両親ともフルタイム）”では「配偶者が育児休業制度を利用した」が、“フルタイム・パート”と“専業主婦（夫）”では「仕事が忙しかった」がそれぞれ多くなっています。

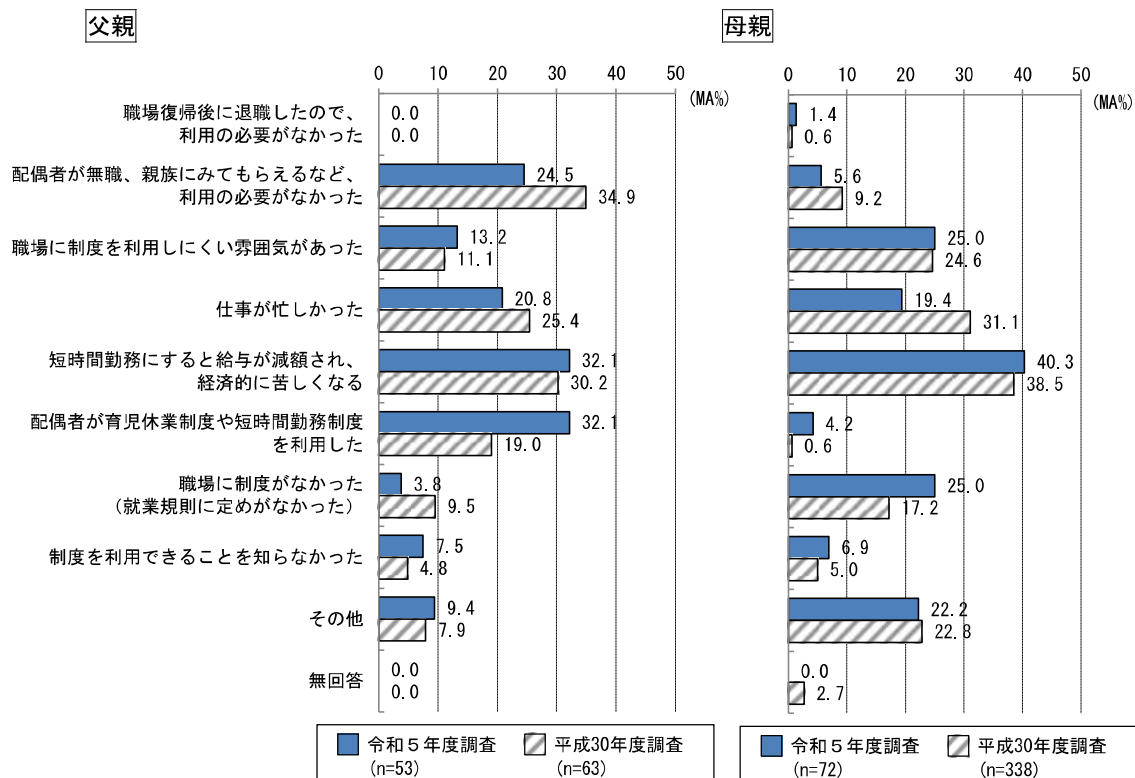
母親は“共働き（両親ともフルタイム）”では「仕事が忙しかった」が、“フルタイム・パート”では「子育てや家事に専念するため退職した」がそれぞれ多くなっています。（表 9-2-1）

3. 父親・母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由

「問18(1)で「3」と答えた方にうかがいます。」

問18(3) その方が、短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

【図9-3 父親・母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由】



短時間勤務制度を利用しなかった理由は、父親は「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」と「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」（それぞれ32.1%）が、母親は「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」（40.3%）が最も多くなっています。

前回調査と比較すると、父親は「配偶者が無職、親にみてもらえるなど、利用の必要がなかった」が10.4ポイント低くなっています。母親は「仕事が忙しかった」が11.7ポイント低くなっています。（図9-3）

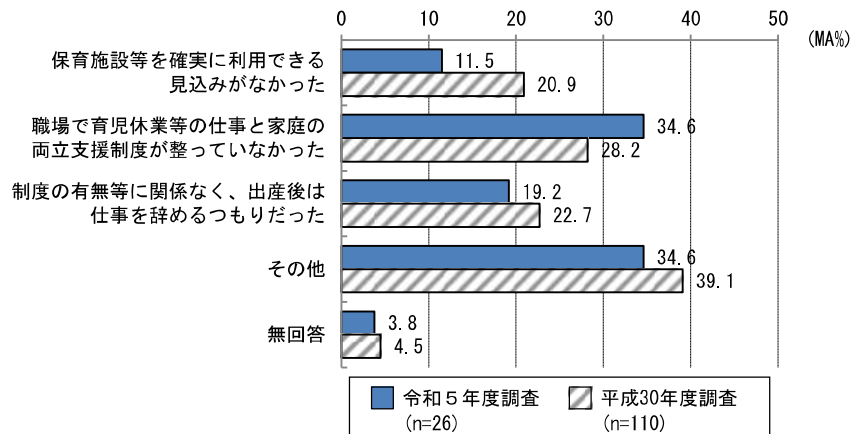
4. 父親・母親が離職した理由

「問18(1)で「5」と答えた方にうかがいます。」

問18(4) その方が、離職した理由は何ですか。(複数回答可)

【図9-4 父親・母親が離職した理由】

母親



母親が離職した理由は、「職場で育児休業等の仕事と家庭の両立支援制度が整っていなかった」が 34.6%、「制度の有無等に関係なく、出産後は仕事を辞めるつもりだった」が 19.2% となっています。

前回調査と比較すると、「保育施設等を確実に利用できる見込みがなかった」は 9.4 ポイント低く、「職場で育児休業等の仕事と家庭の両立支援制度が整っていなかった」は 6.4 ポイント高くなっています。(図 9-4)

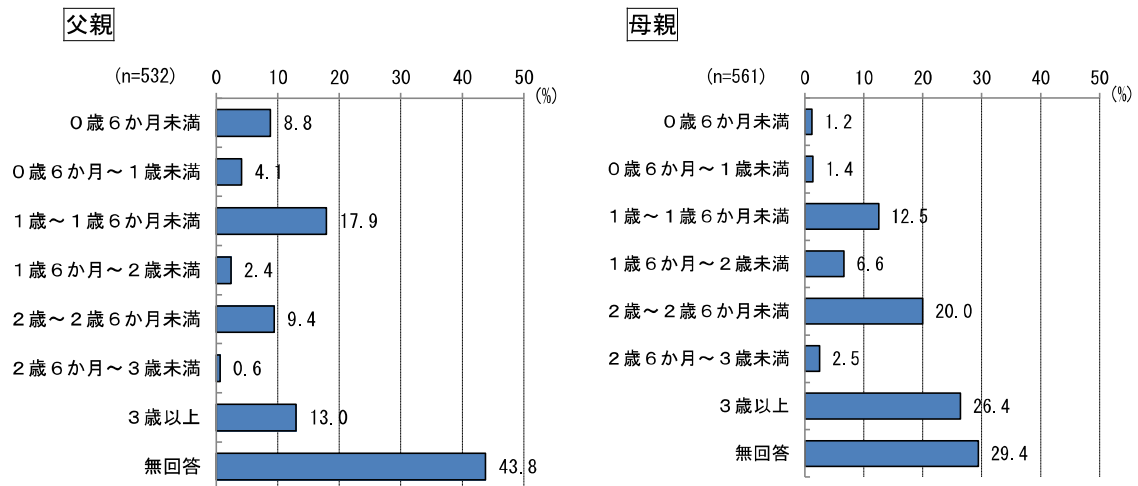
父親

有効回答はありません。

5. 父親・母親が希望する育児休業の取得期間

問18(5) 育児休業は、法律上「最長2年間」取得することができますが、希望としては、子どもが何歳何か月のときまで取得したい（取得したかった）ですか。

【図9-5 父親・母親が希望する育児休業の取得時間】

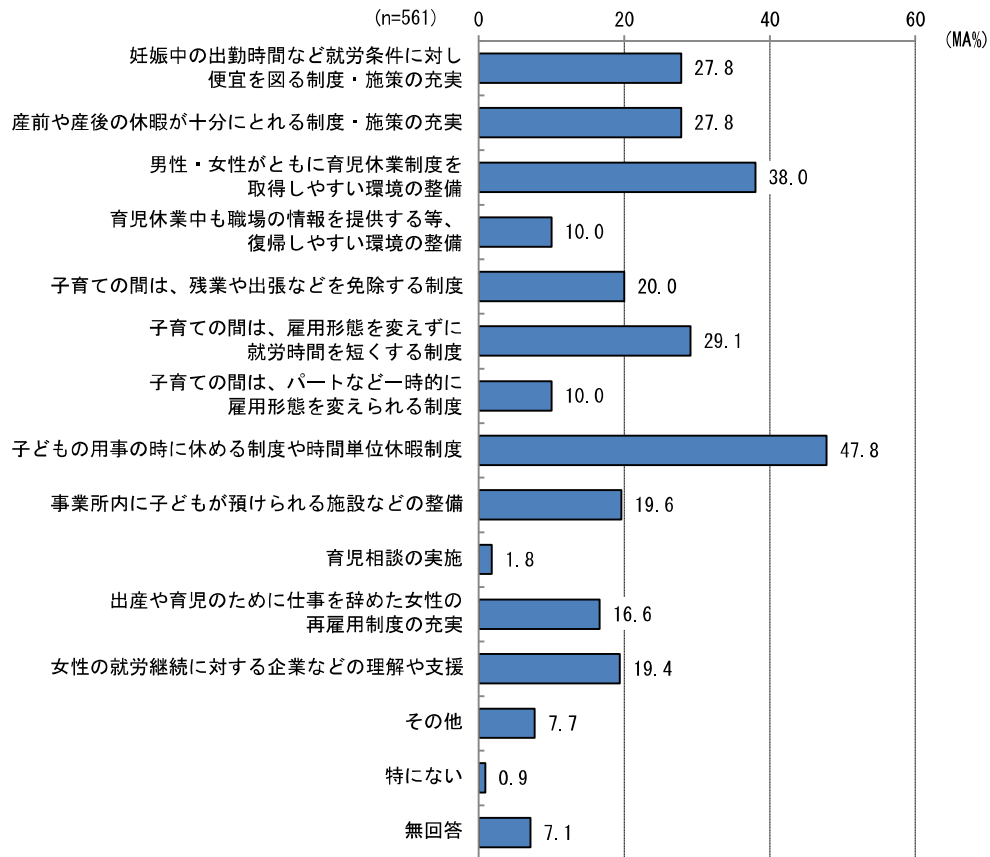


希望する育児休業の取得期間について、父親は「1歳～1歳6か月未満」（17.9%）が、母親は「3歳以上」（26.4%）が、それぞれ最も多くなっています。（図9-5）

6. 子育てと仕事の両立を支援するために優先すべき取組

問19 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に最優先で取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

【図9-6 子育てと仕事の両立を支援するために優先すべき取組】



子育てと仕事の両立を支援するために優先すべき取組は、「子どもの用事の時に休める制度や時間単位休暇制度」が47.8%と最も多く、次いで「男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」が38.0%、「子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度」が29.1%、「妊娠中の出勤時間など就労条件に対し便宜を図る制度・施策の充実」、「産前や産後の休暇が十分にとれる制度・施策の充実」がそれぞれ27.8%となっています。(図9-6)

☐ 家族類型別

【表9-6-1 家族類型別 子育てと仕事の両立を支援するために優先すべき取組】

																	(%)
	n	策の充実	妊娠中の出勤時間など就業条件に対し便宜を図る制度・施策の充実	産前や産後の休暇が十分にとれる制度・施策の充実	男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備	育児休業中も職場の情報提供等、復帰しやすい環境の整備	子育ての間は、残業や出張などを免除する制度	子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度	子育ての間は、パートなど一時的に雇用形態を変えられる制度	子どもの用事の時に休める制度や時間単位休暇制度	事業所内に子どもが預けられる施設などの整備	育児相談の実施	出産や育児のために仕事を辞めた女性の再雇用制度の充実	女性の就業継続に対する企業などの理解や支援	その他	特にない	無回答
ひとり親	29	34.5	37.9	20.7	13.8	6.9	27.6	6.9	51.7	27.6	3.4	20.7	31.0	3.4	0.0	6.9	
共働き（両親ともフルタイム）	233	27.9	26.6	39.9	9.9	22.7	37.8	8.6	48.5	16.7	2.1	11.2	18.5	8.2	1.3	4.3	
フルタイム・パート	154	27.3	27.3	43.5	11.7	20.8	27.9	14.3	51.9	25.3	1.9	17.5	22.1	5.2	0.6	1.9	
専業主婦（夫）	125	28.8	30.4	36.0	8.8	19.2	19.2	9.6	44.8	18.4	0.8	25.6	16.8	12.0	0.8	8.8	
両親ともパート	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
両親とも無職	3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	

家族類型別にみると、“ひとり親”“共働き（両親ともフルタイム）”“フルタイム・パート”“専業主婦（夫）”は「子どもの用事の時に休める制度や時間単位休暇制度」が最も多くなっています。（表 9-6-1）

☐就労状況別

【表9-6-2 就労状況別 子育てと仕事の両立を支援するために優先すべき取組】

		n	妊娠中の出勤時間など就業条件に 対し便宜を図る制度・施策の充実	産前や産後の休暇が十分にとれる 制度・施策の充実	男性・女性がともに育児休業制度 を取得しやすい環境の整備	育児休業中も職場の情報を提供す る等、復帰しやすい環境の整備	子育ての間は、残業や出張などを 免除する制度	子育ての間は、雇用形態を変えず に就労時間を短くする制度	子育ての間は、パートなど一時的 に雇用形態を変えられる制度	子どもの用事の時に休める制度や 時間単位休暇制度	事業所内に子どもが預けられる施 設などの整備	育児相談の実施	出産や育児のために仕事を辞めた 女性の再雇用制度の充実	女性の就労継続に対する企業など の理解や支援	その他	特 に な い	(%) 無 回 答
父親	就労中（フルタイム）	501	27.9	27.3	39.5	10.2	21.2	29.9	10.8	48.5	19.8	1.8	16.6	19.0	8.2	1.0	4.8
	就労中（フルタイム）だが育休・介護休業中	3	33.3	0.0	100.0	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	就労中（パートタイム、アルバイト等）	7	42.9	57.1	42.9	0.0	28.6	42.9	0.0	57.1	28.6	0.0	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0
	就労中（パートタイム、アルバイト等）だが育休・介護休業中	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在就労していない	5	20.0	60.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
母親	就労中（フルタイム）	204	27.9	26.5	39.2	9.8	20.1	37.7	6.9	51.0	18.1	2.5	13.2	21.6	7.8	1.0	4.9
	就労中（フルタイム）だが育休・介護休業中	48	33.3	29.2	37.5	12.5	31.3	37.5	14.6	39.6	16.7	0.0	6.3	14.6	10.4	2.1	2.1
	就労中（パートタイム、アルバイト等）	145	27.6	30.3	40.7	10.3	20.0	26.2	15.2	53.1	23.4	1.4	17.9	20.7	5.5	0.7	2.1
	就労中（パートタイム、アルバイト等）だが育休・介護休業中	17	23.5	29.4	52.9	17.6	23.5	23.5	5.9	41.2	29.4	5.9	17.6	23.5	0.0	0.0	0.0
	現在就労していない	129	28.7	29.5	35.7	8.5	17.8	20.2	9.3	46.5	19.4	1.6	25.6	17.8	10.9	0.8	8.5

就労状況別にみると、父親の“就労中（フルタイム）”は「子どもの用事の時に休める制度や時間単位休暇制度」が最も多くなっています。

母親は“就労中（パートタイム、アルバイト等）だが育休・介護休業中”は「男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」が最も多く、それ以外の就労形態は「子どもの用事の時に休める制度や時間単位休暇制度」が最も多くなっています。（表 9-6-2）